



日本労働組合総連合会(連合)

による「美しい森林づくり」に向けた取組



森林は豊かな暮らしのために欠かせない社会資本

平成元年の結成以来、労働条件や賃金の向上、組合員の生活の豊かさを求めるための取組みを進めてきました。生活を広い範囲で捉え、社会保障や税制、自然環境、食の安全など、人が生きていく上で大切な問題にも全般的に取組んでいます。連合では2年に一度、国や政府に対する政策提言をまとめていますが、連合結成当初から現在に至るまで、森林保全の重要性を提言し続けてきました。

国内外での森林ボランティア活動・「連合エコライフ21」

平成6年に策定した「労働組合の環境問題への取り組み指針」のなかで、「連合の森づくり」を提唱し、今では植林活動は組織全体に広がり、海外で植林を行う組織

もあります。平成10年からは労働組合が自らライフスタイルを見直す取組として「連合エコライフ21」をスタートさせ、そこでも植林活動を重要な取組と位置づけています。平成19年現在、33の地方連合会、11の構成組織で盛んに森づくりが行われています。



他団体と交流を図りながら本当の“美しい森林”を

抽象的な“美しい森林”だけではなく、森林に関わっていきいきと働くこと。若い人が魅力的だと感じる産業に育てていくこと。この状況をつくるのが今、大切です。そのために、従来通りの実務と森林ボランティア活動を行うだけではなく、他団体と積極的に交流を図り、いろいろな方からのアイデアや知恵を借りながら活動に取り組んでいきたいと考えています。

【取組】全国展開

定期的な現地視察

森林の現状をふまえた具体的な提言ができるよう、定期的に森林整備の現場や木材工場などを視察しています。



▶ 間伐作業現場(左)、原木市場(上)への視察

【取組】地域での展開など

地方連合会における「連合の森づくり」の促進

静岡「連合の森」では、平成17・18年の2年間で約500人以上が参加し、植林、下草刈り、枝打ち、間伐等の手入れを行いました。



▶ 連合静岡「連合の森」の植林

日本労働組合総連合会(連合)

平成元年に結成。現在、加盟組合員は680万人。日本の労働組合のナショナル・センターとして、すべての労働者のために雇用と暮らしを守り、豊かさが実感できる公正な社会を目指し取組んでいる。

【問い合わせ】 日本労働組合総連合会(連合)社会政策局 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-2-11 総評会館内3階
TEL:03-5295-0522 <http://www.jtuc-rengo.or.jp/>